

## 診療部

### 【腎臓内科】

#### 『学会』

- |                       |        |   |
|-----------------------|--------|---|
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第5回臨床懇話会 in 佐倉<br>日 : 2015年4月24日<br>所 : ウィンストンホテル・ユーカーリ<br>題 : IgA腎症1000例から見えてきたこと、これからの課題<br>者 : 藤井隆之  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第5回臨床懇話会 in 佐倉<br>日 : 2015年4月24日<br>所 : ウィンストンホテル・ユーカーリ<br>題 : 腎機能低下例の手術だってへっちゃらさ！<br>ー 当院外科・整形外科は凄腕ぞろい ー<br>者 : 鈴木理志   |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : ERA-EDTA 52th congress<br>日 : 2015年5月28日ー5月31日<br>所 : London, United Kingdom<br>題 : Remission of only proteinuria, but not remission of hematuria is important for long-term renal prognosis in IgA nephropathy<br>者 : TAKAYUKI FUJII, Satoshi Suzuki, Mizuki Shinozaki, Noriko Oka, Hiroaki Tanaka |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第58回日本腎臓学会総会<br>日 : 2015年6月5日ー6月7日<br>所 : 名古屋国際会議場<br>題 : IgA腎症の長期予後からみた血尿寛解の意義<br>者 : 藤井隆之、鈴木理志、篠崎みずき、岡紀子、田中宏明   |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第58回日本腎臓学会総会<br>日 : 2015年6月5日ー6月7日<br>所 : 名古屋国際会議場<br>題 : 末期腎不全をアウトカムにしたIgA腎症に対する扁桃腺摘出＋ステロイドパルス療法の有用性の検討<br>者 : 星野純一、藤井隆之、臼井丈一、高市憲明、鈴木理志、乳原善文、山縣邦弘  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第60回日本透析医学会総会<br>日 : 2015年6月26日ー6月28日<br>所 : パシフィコ横浜<br>題 : 保存期腎不全期のコレステロール、Ca管理は透析導入後の大動脈石灰化予防に重要である<br>者 : 藤井隆之、鈴木理志、篠崎みずき、岡紀子、田中宏明、  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第1回北総CKDセミナー<br>日 : 2015年7月2日<br>所 : ホテルマークワンCNT<br>題 : CKD-MBD管理についてー主に血管石灰化の観点から当院のデータを踏まえてー<br>者 : 藤井隆之  |

- 学開場演 演 会催 名 : 第5回透析患者のADL向上を目指して  
日 : 2015年9月21日  
所 : オークラ千葉ホテル  
題 : L-carnitine 静注療法による貧血改善効果の検討 - 中等量以上のESA製剤を要する症例に対して -  
者 : 藤井隆之
- 学開場演 演 会催 名 : 第45回日本腎臓学会東部学術大会  
日 : 2015年10月2日 - 10月3日  
所 : 東京ミッドタウン  
題 : 急激な経過を辿ったADAMTS13阻害抗体陽性血栓性血小板減少性紫斑病  
者 : 田中茂
- 学開場演 演 会催 名 : 第6回臨床懇話会 in 佐倉  
日 : 2015年10月15日  
所 : ウィンチェトンホテル・ユーカーリ  
題 : 薬剤性腎障害について  
者 : 藤井隆之
- 学開場演 演 会催 名 : ASN KIDNEY WEEK 2015  
日 : 2015年11月5日 - 11月8日  
所 : San Diego, USA  
題 : Remission of Urinary Protein at 2 Years After Diagnosis with Normal Renal Function and Remission of Urinary Protein at 1 Year After Diagnosis with Decreased Renal Function as an Accurate Prognostic Marker in IgA Nephropathy  
者 : Takayuki Fujii, Junichi Hoshino, Joichi Usui, Satoshi Suzuki, Yoshifumi Ubara, Kunihiro Yamagata
- 学開場演 演 会催 名 : リオナ錠発売1周年記念講演会  
日 : 2015年11月26日  
所 : 船橋グランドホテル  
題 : リオナ錠の長期使用経験  
者 : 藤井隆之
- 学開場演 演 会催 名 : 第21回日本腹膜透析医学会総会  
日 : 2015年11月28日 - 11月29日  
所 : 仙台国際センター  
題 : SPIED法による腹膜透析導入直後に急性好酸球性肺炎を発症したIgA腎症の一例  
者 : 篠崎みずき、藤井隆之、田中茂、越坂純也、斉藤快児、岡紀子、田中宏明、鈴木理志
- 学開場演 演 会催 名 : 第43回千葉県透析研究会  
日 : 2015年11月29日  
所 : かずさアカデミアパーク  
題 : 非インスリン使用糖尿病合併透析症例に対する血糖管理の実際 - 自己血糖測定からの解析 -  
者 : 藤井隆之、椎名由美子、高野弘栄、高橋弥生、坂井晴美、田中茂、斉藤快児、越坂純也、篠崎みずき、岡紀子、田中宏明、鈴木理志

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 125 回千葉県腎疾患懇話会 日 : 2015 年 12 月 10 日 所 : ホテルポートプラザちば 題 : 抗 GBM 抗体および MPO-ANCA 陽性の急速進行性糸球体腎炎の 2 症例 者 : 斉藤快児、藤井隆之、越坂純也、田中茂、篠崎みずき、岡紀子、田中宏明、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 39 回 IgA 腎症研究会 日 : 2016 年 1 月 30 日 所 : JP タワー ホール&カンファレンス 題 : 腎機能正常例では 2 年以内、腎機能低下例では 1 年以内の蛋白尿寛解が IgA 腎症の良好な腎予後の予測因子である 者 : 藤井隆之、星野純一、臼井丈一、鈴木理志、乳原善文、山縣邦弘

## 『講 演』

講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 佐倉市保健師 CKD 勉強会 日 : 2015 年 6 月 4 日 所 : 佐倉市健康管理センター 名 : 巷ではなにかと「CKD」と言われていますが… 者 : 鈴木理志
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 市原動脈硬化性疾患懇話会学術集会 日 : 2015 年 8 月 27 日 所 : 五井グランドホテル 名 : 目指せ GFR の下げ止まり！当院でのいわゆる CKD 診療 者 : 鈴木理志
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 佐倉市慢性腎臓病予防講演会 日 : 2015 年 9 月 17 日 所 : 佐倉市健康管理センター 名 : 慢性腎臓病予防講演会 者 : 鈴木理志
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : Hypertension information exchange meeting 日 : 2015 年 10 月 6 日 所 : ウィシュトンホテル・ユーカーリ 名 : 腎臓の立場から考える。ARB “2つの力” 者 : 鈴木理志
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 佐倉市薬剤師セミナー 日 : 2016 年 2 月 3 日 所 : 佐倉市健康管理センター 名 : CKD での薬の使い方～そもそも腎臓病自体がわかりにくい～ 者 : 鈴木理志
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 館山腎炎セミナー 日 : 2016 年 3 月 10 日 所 : ホテル ファミリーオ館山 名 : 腎炎・ネフローゼ～世の中の大半は挫折する～ 者 : 鈴木理志

## 【緩和医療科】

## 『学 会』

学 会 名 : 第20回日本緩和医療学会学術大会  
 開 催 日 : 2015年6月18日－20日  
 場 所 : パシフィコ横浜  
 演 題 : 分野2 (痛み以外の身体症状・治療)、P060 (倦怠感、泌尿器症状)  
 座長  
 演 者 : 村上 敏史

学 会 名 : 第20回日本緩和医療学会学術大会  
 開 催 日 : 2015年6月18日－20日  
 場 所 : パシフィコ横浜  
 演 題 : がん患者の呼吸苦に対するオキシコドンの使用状況の報告  
 演 者 : 神崎 雅子、村上 敏史

## 『講 義』

講 義 名 : 千葉ろうさい病院 緩和ケア研修会  
 開 催 日 : 2015年6月27日－28日  
 場 所 : 千葉ろうさい病院  
 演 題 : 呼吸困難  
 演 者 : 村上 敏史

講 義 名 : 第7回千葉医療センター緩和ケア研修会  
 開 催 日 : 2015年9月6日、9月13日  
 場 所 : 国立病院機構 千葉医療センター  
 演 題 : がん性疼痛  
 演 者 : 村上 敏史

講 義 名 : 千葉県主催緩和ケア基礎研修会  
 開 催 日 : 2015年12月12日－13日  
 場 所 : 千葉大学医学部附属病院  
 演 題 : オピオイドを開始するとき  
 演 者 : 村上 敏史

## 『講 演』

講 演 会 名 : 社内勉強会  
 開 催 日 : 2015年6月12日  
 場 所 : 大鵬薬品工業株式会社 千葉支店  
 講 演 名 : 緩和医療について  
 講 演 者 : 村上 敏史

講 演 会 名 : 社内研修会  
 開 催 日 : 2015年7月31日  
 場 所 : 塩野義製薬株式会社 千葉分室  
 講 演 名 : 基幹病院における緩和医療の現状 ～オピオイドの使用状況含め～  
 講 演 者 : 村上 敏史

- 講演会名 : 2015年度 第4回 市民公開講座  
 催日 : 2015年12月5日  
 場所 : 聖隷佐倉市民病院 6階ホール  
 講演名 : 緩和ケアとは ～これからも自分らしく生きるために～  
 演者 : 村上 敏史
- 講演会名 : 千葉 緩和医療セミナー  
 催日 : 2016年1月14日  
 場所 : ウィンストンホテルユーカリ  
 講演名 : 一般演題 座長  
 演者 : 村上 敏史
- 講演会名 : がん地域医療連携推進講座  
 催日 : 2016年2月4日  
 場所 : 公立能登総合病院  
 講演名 : 緩和専門医が考える地域緩和医療 ～聖隷佐倉市民病院での地域緩和医療の取り組み～  
 演者 : 村上 敏史
- 講演会名 : 第6回 緩和ケア病棟講習会  
 催日 : 2016年3月12日  
 場所 : 聖隷佐倉市民病院 6階ホール  
 講演名 : 「緩和ケアとは」「緩和ケア病棟紹介」  
 演者 : 村上 敏史

## 『論文』

- 雑誌名 : Anesthesia & Analgesia  
 題名 : Tramadol and its metabolite ml selectively suppress transient receptor potential ankyrin 1 activity, but not transient receptor potential vanilloid 1 activity.  
 著者 : Miyano K, Minami K, Yokoyama T, Ohbuchi K, Yamaguchi T, Murakami S, Shiraishi S, Yamamoto M, Matoba M, Uezono Y.  
 巻、ページ、年度 : 120(4):790-8, 2015
- 雑誌名 : 日本緩和医療学会誌  
 題名 : 頸椎転移による頸部痛に対しハローベスト装着により自宅退院が可能となった食道癌, 多発骨転移の1例  
 著者 : 八代 英子、國府田 正雄、村上 敏史、田口 奈津子  
 巻、ページ、年度 : 10(3):535-538, 2015
- 雑誌名 : Journal of Pharmacological Sciences  
 題名 : Tris-hydroxymethyl-aminomethane enhances capsaicin-induced intracellular Ca<sup>2+</sup> influx through transient receptor potential V1 (TRPV1) channels.  
 著者 : Murakami S, Sudo Y, Miyano K, Nishimura H, Matoba M, Shiraishi S, Konno H, Uezono Y.  
 巻、ページ、年度 : Feb;130(2):72-7, 2016

雑誌名 : Journal of Palliative Care & Medicine  
題名 : Plasma Concentration of Oxycodone and Pain during Hemodialysis in a Patient with Cancer  
著者 : Satoshi Murakami, Mizuki Herai, Satoshi Suzuki, Takayuki Fujii, Hiroaki Tanaka, Mizuki Shinozaki, Hideya Kokubun, Toru Akagi, Yasuhito Uezono, Yuko Murakami-Ando, Seiji Shiraishi, Motohiro Matoba  
巻、ページ、年度 : 6(2), 2016

## 『その他』

その日の他 : 2015年度日本緩和医療学会専門医認定試験 試験問題作成WG員  
付 : 2015年4月17日 - 2015年11月29日  
氏名 : 村上 敏史

その日の他 : 第21回緩和医療学会 査読委員  
付 : 2016年1月8日 - 2016年1月20日  
氏名 : 村上 敏史

## 【消化器内科】

### 『学会』

学会名 : 第338回日本消化器病学会関東地方会例会  
開催日 : 2016年2月6日  
会場所 : 海運クラブ  
講演題 : 頻回なる低血糖症の経過中、肝腫瘍の発見を契機に診断に至った膵solid-pseudopapillary tumor 術後の再発例  
講演者 : 住吉良太、坂本大、川嶋八也、佐藤慎一、河上牧夫 (病理診断科)

### 『講演』

講演会名 : 第5回臨床懇話会 in 佐倉  
開催日 : 2015年4月24日  
会場所 : ウィンストンホテル・ユーカリ 4階ジャルダン  
講演題 : 頻回なる低血糖症の経過中、肝転移を契機に診断に至った膵充実性偽乳頭状腫瘍術後の再発例  
講演者 : 住吉良太

講演会名 : 第6回臨床懇話会 in 佐倉  
開催日 : 2015年10月15日  
会場所 : ウィンストンホテル・ユーカリ 4階ジャルダン  
講演題 : IgG4関連硬化性胆管炎について  
講演者 : 坂本大

講演会名 : 第6回臨床懇話会 in 佐倉  
開催日 : 2015年10月15日  
場所 : ウィンストンホテル・ユウカリ 4階ジャルダン  
講演者名 : ランソプラゾールの関与が強く疑われる Collagenous colitis の1例  
講演者 : 川嶋八也

## 【循環器科】

### 『学会』

学会名 : 第12回循環器フォーラム (座長)  
開催日 : 2015年11月26日  
場所 : ヒルトン成田  
講演者名 : 冠動脈インターベンション後早期に発現した冠動脈瘤の1例  
講演者 : 徳山 権一

### 『講演』

講演会名 : 印旛市郡医師会学術講演会 (座長)  
開催日 : 2015年9月9日  
場所 : ヒルトン成田  
講演者名 : コレステロール代謝と冠動脈動脈硬化病変との関連性  
講演者 : 徳山 権一

### 『論文』

雑誌名 : 診断と治療  
題名 : 肺高血圧症・肺血栓塞栓症 見逃すことなく最適の治療へ  
肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症  
著者 : 徳山 権一  
巻、ページ、年度 : Vol.103 No.6 2015/6

## 【外科】

### 『学会』

学会名 : 第27回日本肝胆膵外科学会学術集会  
開催日 : 2015年6月12日  
場所 : ホテルグランパシフィック LE DAIBA (東京)  
講演者名 : 当科での膵空腸吻合法における術後ドレーン管理  
講演者 : 小池直人、大島祐二

- 学開場演  
催  
名 : 第74回千葉県外科医会  
日 : 2015年7月4日  
所 : 千葉県医師会館(千葉)  
題 : 腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア修復術の当院での手術手技  
者 : 大島祐二、小池直人、渡邊裕樹、武内俊章、久保田亨、有田誠司
- 学開場演  
催  
名 : 第70回日本消化器外科学会総会  
日 : 2015年7月16日  
所 : アクトシティ浜松(浜松)  
題 : 当科における肝外胆管切除を伴う拡大肝葉切除術の経験とその手技の工夫  
者 : 小池直人、大島祐二、武内俊章、久保田亨、有田誠司、河上牧夫、大河内信弘
- 学開場演  
催  
名 : World congress of Surgery  
日 : 2015年8月26日  
所 : Bangkok, Thailand  
題 : Our Experiences of Major Hepatectomy for Hepatobiliary Carcinoma in Extremely Elderly Patients  
者 : Naoto Koike, Yuji Ohshima, Toshiaki Takeuchi, Seiji Arita
- 学開場演  
催  
名 : 第51回日本胆道学会学術集会  
日 : 2015年9月17日  
所 : ホテル東日本宇都宮(宇都宮)  
題 : CA19-9高値を呈した肝嚢胞に対して腹腔鏡下開窓術を行った症例  
者 : 大島祐二、小池直人
- 学開場演  
催  
名 : 第75回千葉県外科医会  
日 : 2015年11月7日  
所 : 千葉県医師会館(千葉)  
題 : 爪楊枝誤嚥による大腸穿孔の一例  
者 : 渡邊裕樹、小池直人、武内俊章 大島祐二 有田誠司
- 学開場演  
催  
名 : 第77回日本臨床外科学会総会  
日 : 2015年11月27日  
所 : マリンメッセ福岡(福岡)  
題 : 胆石性イレウスの一症例  
者 : 武内俊章、小池直人、有田誠司、大島祐二、渡邊裕樹、大河内信弘
- 学開場演  
催  
名 : 第1320回千葉医学会例会 千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学平成27年度例会  
日 : 2015年12月19日  
所 : 千葉大学医学部附属病院ガーネットホール  
題 : 大腸癌術後DVD欠損により重度の骨髄抑制を伴った一例  
者 : 渡邊裕樹、武内俊章、大島祐二、小池直人、有田誠司
- 学開場演  
催  
名 : 第1320回千葉医学会例会 千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学平成27年度例会  
日 : 2015年12月20日  
所 : 千葉大学医学部附属病院ガーネットホール  
題 : 当院における鏡視下手術の現況(シンポジウム)  
者 : 有田誠司



学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 15 回千葉肝胆膵外科フォーラム 日 : 2016 年 1 月 23 日 所 : ホテル京成ミラマーレ (千葉) 題 : 慢性腎不全を有する進行肝細胞癌に対し切除と術後動注化学療法で 長期無再発の 1 例 者 : 小池直人、大島祐二、武内俊章、渡邊裕樹、久保田亨、有田誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 21 回千葉内視鏡外科研究会 日 : 2016 年 2 月 13 日 所 : 三井ガーデンホテル千葉 (千葉) 題 : 腹壁癒痕ヘルニアに対する IPOM-Plus の経験 者 : 渡邊裕樹、小池直人、武内俊章、大島祐二、有田誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 76 回千葉県外科医会 日 : 2016 年 3 月 5 日 所 : 千葉県医師会館 (千葉) 題 : 大腸穿孔を発症した血液透析患者の 2 例 者 : 服部史弥、小池直人、大島祐二、武内俊章、渡邊裕樹、久保田亨、 有田誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 15 回日本再生医療学会総会 日 : 2016 年 3 月 18 日 所 : 大阪国際会議場 (大阪) 題 : 血管化膵島移植による革新的糖尿病治療法の確立 者 : 高橋禎暢、武部貴則、小池直人、関根圭輔、谷口英樹

## 『講 義』

講 開 場 演 演	義 催	名 : 高知大学医学部 5 年生外科学第二講義 日 : 2015 年 12 月 20 日 所 : 高知大学医学部第一講堂 題 : 移植および再生医療の up-to-date 者 : 有田誠司
-----------------------	--------	---

## 『講 演』

講 開 場 講 講	演 催 演 演	名 : 2015 年度第 3 回公開市民講座 日 : 2015 年 9 月 12 日 所 : 聖隷佐倉市民病院 6 階ホール 名 : 健康だったら何でも出来る！～あなたの健康はみんなの健「幸」～ 者 : 有田誠司
講 開 場 講 講	演 催 演 演	名 : 第 12 回がんワクチン療法研究会学術集会 (会長講演) 日 : 2015 年 11 月 14 日 所 : ウィシュトンホテルユーカーリ (佐倉) 名 : 消化器癌に対するがんワクチンの可能性 者 : 小池直人
講 開 場 講 講	演 催 演 演	名 : 化学療法委員会講演会 日 : 2015 年 12 月 7 日 所 : 聖隷佐倉市民病院医局会議室 名 : 胃がん治療について 者 : 大島祐二

- 講演会  
開場  
場  
講演  
催  
演  
名 : 第8回救命と安全の連鎖研究会  
日 : 2016年1月30日  
所 : 東邦大学医療センター佐倉病院東棟7階講堂  
名 : 救急と防災に関する聖隷佐倉市民病院の取り組み  
者 : 有田誠司
- 講演会  
開場  
場  
講演  
催  
演  
名 : 佐倉四街道地区消化器病検討会 (ミニレクチャー)  
日 : 2016年2月17日  
所 : 佐倉健康管理センター (佐倉)  
名 : 消化器癌治療のトピックー免疫療法についてー  
者 : 小池直人
- 講演会  
開場  
場  
講演  
催  
演  
名 : 2015年度第5回公開市民講座  
日 : 2016年2月20日  
所 : 聖隷佐倉市民病院6階ホール  
名 : 外科医の私がみなさんに伝えたい「脳ドック」と「がん検診」  
者 : 有田誠司
- 講演会  
開場  
場  
講演  
催  
演  
名 : 家族性腫瘍委員会主催勉強会  
日 : 2016年3月23日  
所 : 聖隷佐倉市民病院6階ホール  
名 : 遺伝性大腸癌  
者 : 小池直人

## 『論文』

- 雑誌  
題  
名 : Abdominal Imaging  
名 : Diffusion-weighted whole-body imaging with background body signal suppression/T2 image fusion and positron emission tomography/computed tomography of upper gastrointestinal cancers
- 著  
者 : Tomizawa M., Shinozaki F., Uchida Y., Uchiyama K., Fugo K., Sunaoshi T., Ozaki A., Sugiyama E., Baba A., Fukamizu Y., Kagayama S., Hasegawa R., Shirai Y., Oshima Y., Koike N., Toshimitsu Y., Motoyoshi Y., Sugiyama T., Yamamoto S., Kishimoto T. and Ishige N.
- 巻、ページ、年度 : 40、3012-9、2015
- 雑誌  
題  
名 : 癌と化学療法  
名 : FOLFIRI療法が長期奏効した透析前末期腎不全を有する直腸癌術後再発の1例
- 著  
者 : 小池直人、武内俊章、藤井隆之、大島祐二、有田誠司、井坂直秀、篠崎英司
- 巻、ページ、年度 : 42、1427-1430、2015

## 『その他』

- その  
日  
場  
題  
氏  
他 : 聖隷佐倉市民病院教育セミナー (座長)  
付 : 2015年9月14日  
所 : 聖隷佐倉市民病院6階ホール  
名 : 大腸癌の家族発生 (石田秀行先生 (埼玉医科大学総合医療センター消化器一般外科教授))  
名 : 小池直人

その 日 場 題 氏	の	他 : 第12回がんワクチン療法研究会学術集会特別講演 (座長) 付 : 2015年11月14日 所 : ウィシュトンホテルユーカーリ (佐倉) 名 : がんの免疫制御 その哲学の実践を - Somato-Germinomics を介して - (佐藤昇志先生 (札幌医科大学名誉教授 (前札幌医科大学第1病理教授))) 名 : 小池直人
その 日 場 題 氏	の	他 : 第12回がんワクチン療法研究会学術集会 会長 付 : 2015年11月14日 所 : ウィシュトンホテルユーカーリ (佐倉) 名 : がん免疫療法の中でのがんワクチンの役割 名 : 小池直人
その 日 場 題 氏	の	他 : Massachusetts General Hospital Radiation Oncology Alumni Party 付 : 2016年2月13日 所 : 六本木ヒルズ (東京) 名 : Introduction 名 : Naoto Koike

## 【乳腺外科】

### 『学 会』

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第23回日本乳癌学会学術総会 日 : 2015年7月2日-4日 所 : 東京 題 : ペグフィルグラスチム (ジーラスタ) の日常臨床への導入に関する検討 者 : 川島太一、黒野健司、成毛育恵
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第23回日本乳癌学会総会 日 : 2015年7月2日-4日 所 : 東京 題 : 多発肝骨肺及び腹腔内リンパ節転移を来したDCISに対してTHP療法により臨床的完全奏功を達成した一例 者 : 黒野健司、川島太一、川上浩幸、河上牧夫
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第53回日本癌治療学会学術集会 日 : 2015年10月29日-31日 所 : 京都 題 : 内分泌療法抵抗性の乳癌術後再発に対して everolimus+exemestane 療法が奏効した1例 者 : 黒野健司、川島太一
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第77回日本臨床外科学会総会 日 : 2015年11月26日-28日 所 : 福岡 題 : 若年発症した局所進行乳癌に対して妊孕性を考慮した集学的治療が奏功した1例 者 : 黒野健司、川島太一

## 『講演』

- |                     |                  |                            |  |
|---------------------|------------------|----------------------------|--|
| 講演<br>開場<br>場<br>講演 | 演<br>催<br>演<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 印旛医療圏癌治療を考える会<br>: 2015年7月1日<br>: ウィシュトンホテルユーカリ<br>: ホルモン療法投薬時の注意点<br>: 川島太一                           |
| 講演<br>開場<br>場<br>講演 | 演<br>催<br>演<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 印旛乳癌セミナー<br>: 2015年10月27日<br>: ウィシュトンホテルユーカリ<br>: 乳癌治療の濃い話題<br>: 川島太一                                  |
| 講演<br>開場<br>場<br>講演 | 演<br>催<br>演<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 第8回印旛薬剤師フォーラム<br>: 2016年2月4日<br>: 聖隷佐倉市民病院6階ホール<br>: 薬剤師に必要な乳癌治療の基礎知識 ～歴史的背景から最新エビデ<br>ンスまで～<br>: 川島太一 |

## 『その他』

- |                       |   |                       |  |
|-----------------------|---|-----------------------|--|
| そ<br>日<br>場<br>題<br>氏 | の | 他<br>付<br>所<br>名<br>名 | : 精中機構マンモグラフィ講習会<br>: 2015年10月3-4日<br>: 名古屋<br>: 精中機構マンモグラフィ講習会（準講師）<br>: 川島太一 |
|-----------------------|---|-----------------------|--|

## 【整形外科】

### 『学会』

- |                  |        |                       |   |
|------------------|--------|-----------------------|---|
| 学<br>開<br>場<br>演 | 会<br>催 | 名<br>日<br>所<br>題<br>者 | : 第44回日本脊椎脊髄病学会学術集会<br>: 2015年4月16日-18日<br>: 福岡<br>: Ballon kyphoplasty とテリパラチド週1回製剤を併用した骨粗鬆<br>症性椎体骨折に対する地域連携パス<br>: 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、根本哲治、飯島靖、嶋田洋平、南昌平 |
| 学<br>開<br>場<br>演 | 会<br>催 | 名<br>日<br>所<br>題<br>者 | : 第44回日本脊椎脊髄病学会学術集会<br>: 2015年4月16日-18日<br>: 福岡<br>: 思春期特発性側弯症（AIS）患者における後方矯正固定術が運動能力<br>に与える影響<br>: 加藤木丈英、小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、南昌平                          |

- 学開場演 会催 名 : 第44回日本脊椎脊髄病学会学術集会  
日 : 2015年4月16日－18日  
所 : 福岡  
題 : 高度な矢状面インバランスを呈する成人脊柱変形治療の新しい治療戦略ー低侵襲前方アプローチを併用した前後合併矯正固定術の利点  
者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、飯島靖、嶋田洋平、南昌平
- 学開場演 会催 名 : 第44回日本脊椎脊髄病学会学術集会  
日 : 2015年4月16日－18日  
所 : 福岡  
題 : 胸膜外後腹膜腔アプローチにおける気胸への対策  
者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、根本哲治、飯島靖、嶋田洋平、南昌平
- 学開場演 会催 名 : 第44回日本脊椎脊髄病学会学術集会  
日 : 2015年4月16日－18日  
所 : 福岡  
題 : 腸骨アンカーとしての Sacral alar iliac スクリューの有効性の検討ーS1椎弓根スクリューのルーピングに注目した腸骨スクリューとの比較ー  
者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、飯島靖、縄田健斗、南昌平
- 学開場演 会催 名 : 日本旅行医学会  
日 : 2015年4月18日  
所 : 東京  
題 : ロコモティブシンドローム  
者 : 岸田俊二
- 学開場演 会催 名 : 第88回日本整形外科学会学術総会  
日 : 2015年5月21日－24日  
所 : 神戸  
題 : CBTを用いた腰椎後方椎体間固定術の治療成績 : JOABPEQを用いた椎弓根スクリューとの比較検討  
者 : 飯島靖、小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、根本哲治、嶋田洋平、南昌平
- 学開場演 会催 名 : 第88回日本整形外科学会学術総会  
日 : 2015年5月21日－24日  
所 : 神戸  
題 : Long-term quality of life after early fusion surgery in congenital scoliosis patients  
者 : Toshiaki Kotani, Shohei Minami, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma, Noriaki Kawakami, Taichi Tsuji, Kouki Uno.
- 学開場演 会催 名 : 日本整形外科学会  
日 : 2015年5月21日  
所 : 兵庫県神戸市  
題 : Jugger Knot と Interference screw を併用した鏡視下上腕二頭筋長頭腱固定術の術後短期成績とMRI画像の検討  
者 : 佐々木裕、落合信靖、山口毅、木島丈博、橋本瑛子、佐々木康人、高橋和久
- 学開場演 会催 名 : 第52回日本リハビリテーション医学会  
日 : 2015年5月28日－30日  
所 : 新潟  
題 : Lateral interbody fusion 前後の下肢近位筋力定量評価  
者 : 小谷俊明、赤澤努、南昌平

- 学開場演 演  
会催  
名 : 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会  
日 : 2015年6月20日  
所 : 北海道札幌市  
題 : 肩鎖関節新鮮脱臼に対する人工靭帯と Dog Bone Button を用いた鏡視下烏口鎖骨靭帯再建術  
者 : 佐々木裕、落合信靖、山口毅、木島丈博、橋本瑛子、佐々木康人、見目智紀
- 学開場演 演  
会催  
名 : 第25回ちば脊椎カンファレンス  
日 : 2015年7月4日  
所 : 千葉  
題 : パーキンソン病を伴う後弯症に対してVCR (Vertebral column resection) と long fusion を施行した1例  
者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、岸田俊二、佐々木裕、海村朋孝、南昌平
- 学開場演 演  
会催  
名 : 第48回脊椎外科同好会  
日 : 2015年8月29日  
所 : アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張, 千葉  
題 : 成人脊柱変形術後に再手術を要した Proximal Junctional Failure の2例  
者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
- 学開場演 演  
会催  
名 : 第64回東日本整形災害外科学会  
日 : 2015年9月11日-12日  
所 : 福島  
題 : 3次元画像解析ソフトウェアを用いた脊髄刺激療法に対する術前プランニング  
者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、岸田俊二、佐々木裕、南昌平
- 学開場演 演  
会催  
名 : European society for surgery of the shoulder and the elbow  
日 : 2015年9月16日  
所 : Milano, Italy  
題 : Histological analysis of fatty degeneration after rotator cuff tear and suprascapular nerve injury in a rat model  
者 : Yu Sasaki, Nobuyasu Ochiai, Tomonori Kenmoku, Takeshi Yamaguchi, Takehiro Kijima, Eiko Hashimoto, Yasuhito Sasaki
- 学開場演 演  
会催  
名 : 第17回日本骨粗鬆症学会  
日 : 2015年9月17日-19日  
所 : 広島  
題 : Baloon Kyphoplasty 病診連携パスにおける治療成績の解析  
者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、岸田俊二、佐々木裕、南昌平
- 学開場演 演  
会催  
名 : 50th Scoliosis Research Society Annual Meeting  
日 : 2015年9月30日-10月3日  
所 : Minneapolis, USA  
題 : Intervertebral Disc Degeneration 35 Years After Surgery for Adolescent Idiopathic Scoliosis: Long-Term MRI Follow Up  
者 : Tsutomu Akazawa; Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Masaru Sonoda; Mika Fujiwara; Mitoshi Ishino; Takehide Katougi; Shohei Minami.

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 42 回日本股関節学会 日 : 2015 年 10 月 30 日 所 : 大阪市 題 : 適正利用を目的とした院内骨バンクの取り組み 者 : 岸田俊二
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 49 回日本側彎症学会学術集会 日 : 2015 年 11 月 5 日 - 6 日 所 : 新潟 題 : 思春期特発性側弯症術後 35 年での椎間板変性 者 : 赤澤努、小谷俊明、佐久間毅、南昌平、加藤木丈英
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 49 回日本側彎症学会学術集会 日 : 2015 年 11 月 5 日 - 6 日 所 : 新潟 題 : 思春期特発性側弯症 (AIS) 患者の運動能力の解析 - 新体力テストを用いて - 者 : 奥村太朗、加藤木丈英、原園学、小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 49 回日本側彎症学会学術集会 日 : 2015 年 11 月 5 日 - 6 日 所 : 新潟 題 : Sagittal Adjusting Screw を用い Cantilever Bending による Double Rod Translation を行った思春期特発性側彎症の手術成績 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 49 回日本側彎症学会学術集会 日 : 2015 年 11 月 5 日 - 6 日 所 : 新潟 題 : 術後 27 年以上経過した思春期特発性側弯症 (AIS) 患者における運動能力の解析 者 : 加藤木丈英、奥村太朗、原園学、赤澤努、小谷俊明、佐久間毅、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 49 回日本側彎症学会学術集会 日 : 2015 年 11 月 5 日 - 6 日 所 : 新潟 題 : 側弯症後方手術における電動式ドライバーの有用性 者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 49 回日本側彎症学会学術集会 日 : 2015 年 11 月 5 日 - 6 日 所 : 新潟 題 : 胸腰椎側弯症前方手術における気胸対策 者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 49 回日本側彎症学会学術集会 日 : 2015 年 11 月 5 日 - 6 日 所 : 新潟 題 : VEPTR 開始にむけての取り組み 者 : 石毛京子、ムカマ章代、大高麻衣、加藤有里、宮崎木の実、村上千織、小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、南昌平

- 学開場演 会催 名 : 第24回日本脊椎インストゥルメンテーション学会  
日 : 2015年11月6日-7日  
所 : 新潟  
題 : 骨粗鬆症性椎体圧壊に対し低侵襲経腸腰筋側方アプローチによる椎体亜全摘の短期成績  
者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
- 学開場演 会催 名 : 第24回日本脊椎インストゥルメンテーション学会  
日 : 2015年11月6日-7日  
所 : 新潟  
題 : 術後2年以上経過例におけるCBT法を用いた腰椎後方固定術の成績—従来法との前向き比較対照試験—  
者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
- 学開場演 会催 名 : 第24回日本脊椎インストゥルメンテーション学会  
日 : 2015年11月6日-7日  
所 : 新潟  
題 : 成人脊柱変形症例に対する経腸腰筋側方椎体間固定術による腰椎前弯獲得の因子  
者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
- 学開場演 会催 名 : 第24回日本脊椎インストゥルメンテーション学会  
日 : 2015年11月6日-7日  
所 : 新潟  
題 : 千葉県内におけるOblique lateral interbody fusion(OLIF)の合併症の報告  
者 : 阿部幸喜、萬納寺誓人、茂手木博之、新籾正明、石川哲大、小谷俊明、赤澤努、森永達夫、藤由崇之、蓮江文男、山縣正庸、橋本光宏、山内友規、江口和、鈴木宗貴、花岡英二、折田純久、大鳥精司、高橋和久
- 学開場演 会催 名 : 第23回日本腰痛学会  
日 : 2015年11月14日-15日  
所 : JPタワー&ホールカンファレンス, 東京  
題 : 高度な矢状面変形を有する成人脊柱変形治療の新しい治療戦略—低侵襲前方アプローチを併用した前後合併矯正固定術—  
者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、岸田俊二、佐々木裕、海村朋孝、南昌平
- 学開場演 会催 名 : 第23回日本腰痛学会  
日 : 2015年11月14日-15日  
所 : 東京  
題 : 思春期特発性側弯症術後35年での非固定椎間の椎間板変性とModic change  
者 : 赤澤努、小谷俊明、佐久間毅、南昌平
- 学開場演 会催 名 : 第23回日本腰痛学会  
日 : 2015年11月14日-15日  
所 : 東京  
題 : 当院におけるBalloon Kyphoplasty後6ヶ月の経過と動作指導による再骨折予防の取り組み  
者 : 白井智裕、清水菜穂、池田陽香、小谷俊明、赤澤努、岸田俊二、佐久間毅、佐々木裕、南昌平



学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 23 回日本腰痛学会 日 : 2015 年 11 月 14 日 - 15 日 所 : 東京 題 : 多職種連携による骨粗鬆症リエゾンサービスの取り組み 者 : 小谷俊明、赤澤努、岸田俊二、佐久間毅、佐々木裕、海村朋孝、 加藤木丈英、宮崎木の実、木村弘美、椎名祐子、秋山宏美、鈴木諒、 岐部尚美、石田拓未、
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 1322 回千葉医学会整形外科例会 日 : 2015 年 12 月 5 日 所 : 千葉 題 : リバース型全人工肩関節置換術における 0-arm Navigation の有用 性の検討 者 : 佐々木裕、小谷俊明、赤澤努、岸田俊二、佐久間毅、海村朋孝、 水木誉凡、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 千葉股関節研究会 日 : 2016 年 1 月 23 日 所 : 千葉市 題 : 大腿骨近位部骨折 早期手術の試み 者 : 岸田俊二
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 26 回ちば脊椎カンファレンス 日 : 2016 年 2 月 13 日 所 : アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張, 千葉 題 : 両側 THA 術後の成人脊柱変形手術で生じた問題点 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 千葉手と小児の合同研究会 日 : 2016 年 3 月 15 日 所 : 京成ホテルミラマーレ, 千葉 題 : Pediatric spine and spinal cord disorders 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 6 回成人脊柱変形学会学術集会 日 : 2016 年 3 月 12 日 所 : 新潟医療人育成センター 題 : 成人脊柱変形症例における経腸腰筋側方椎体間固定術でよりよい腰 椎前弯を獲得するために 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 10 回日本 CAOS 研究会 日 : 2016 年 3 月 24 日 - 25 日 所 : 犬山 題 : 0-arm ナビゲーション手術における電動式ドライバーの有用性 者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、岸田俊二、佐々木裕、水木誉凡、 南昌平

## 『講 義』

講 義 名 : 千葉大学医学部学生ユニット講義  
 開 催 日 : 2015年10月13日  
 場 所 : 千葉大学医学部  
 演 題 : 転移性脊椎腫瘍  
 演 者 : 小谷俊明

講 義 名 : 整形外科ユニット講義  
 開 催 日 : 2015年11月5日  
 場 所 : 千葉市  
 演 題 : 変形性股関節症  
 演 者 : 岸田俊二

## 『講 演』

講 演 会 名 : 第2回脊柱変形セミナー  
 開 催 日 : 2015年4月4日  
 場 所 : コモディオ汐留, 東京  
 講 演 名 : Case Presentation  
 講 演 者 : 佐久間 毅

講 演 会 名 : 第105回千葉県臨床整形外科医会研修会  
 開 催 日 : 2015年4月11日  
 場 所 : 千葉  
 講 演 名 : 側弯症患者さんから教えられたこと  
 講 演 者 : 小谷俊明

講 演 会 名 : 2015年度第1回市民公開講座  
 開 催 日 : 2015年5月9日  
 場 所 : 聖隷佐倉市民病院 6Fホール  
 講 演 名 : 肩のいたみについて  
 講 演 者 : 佐々木裕

講 演 会 名 : 骨粗鬆症市民公開講座  
 開 催 日 : 2015年6月13日  
 場 所 : 佐倉市 ウィンシュトンホテル・ユーカーリ  
 講 演 名 : 骨粗しょう症を知ろうー骨粗しょう症の正しい知識と対策  
 講 演 者 : 赤澤努

講 演 会 名 : 骨粗鬆症市民公開講座  
 開 催 日 : 2015年6月13日  
 場 所 : 佐倉市 ウィンシュトンホテル・ユーカーリ  
 講 演 名 : いつまでも元気に歩くために  
 講 演 者 : 岸田俊二

講 演 会 名 : 土浦地区骨折予防連携会議  
 開 催 日 : 2015年6月24日  
 場 所 : 土浦  
 講 演 名 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対するBKPとテリパラチドを用いた地域連携  
 講 演 者 : 小谷俊明

- |                  |             |                            |  |
|------------------|-------------|----------------------------|--|
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 印旛市群リウマチセミナー<br>: 2015年7月9日<br>: 佐倉市 ウィッシュトンホテル・ユーカリ<br>: 関節リウマチ患者における肩関節治療<br>: 佐々木裕  |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 姫路市整形外科医会<br>: 2015年7月18日<br>: 姫路<br>: 骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略ー病診連携と骨粗鬆症リエゾンサー<br>ビス<br>: 小谷俊明  |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 聖隷佐倉市民病院理学療法の日<br>: 2015年7月18日<br>: 佐倉市<br>: ロコモティブシンドローム<br>: 岸田俊二                    |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 第2回札幌西地区運動器疾患セミナー<br>: 2015年7月31日<br>: 札幌<br>: 骨粗鬆症椎体骨折に対する病診連携とリエゾンサービスについて<br>: 小谷俊明 |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 幸齢社会づくり協会 講演会<br>: 2015年8月29日<br>: 千葉市<br>: ロコモティブシンドローム<br>: 岸田俊二                     |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 整形外科地域連携講演会<br>: 2015年9月15日<br>: 成田<br>: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する BKP を用いた病診連携<br>: 小谷俊明          |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 第70回国民体育大会千葉県選手団結団式講演会<br>: 2015年9月16日<br>: 千葉<br>: 国体におけるドーピング検査<br>: 南昌平             |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 読売日本テレビ文化センター健康公開講座<br>: 2015年10月3日<br>: 佐倉市 ウィッシュトンホテル・ユーカリ<br>: 変形性股関節症<br>: 岸田俊二    |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 読売日本テレビ文化センター健康公開講座<br>: 2015年10月3日<br>: 佐倉市 ウィッシュトンホテル・ユーカリ<br>: 肩関節の病気と治療<br>: 佐々木裕  |

講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名	名 : 熊本南部地区地域連携会 日 : 2015年10月9日 所 : 熊本 名 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対する病診連携の導入とリエゾンサービスについて
講	演	者	者 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	名 : The 4th PUMC Live Surgery Seminar on Technique of Spine Deformity Correction 日 : 2015年10月17日 所 : 北京 中国 名 : AIS with eating disorder 者 : Toshiaki Kotani
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	名 : ASPAC Deformity Advisory Panel 日 : 2015年10月18日 所 : 北京 中国 名 : The Use of LLIF for Sagittal Plane Reconstruction in the Adult 者 : Toshiaki Kotani
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	名 : 千葉南骨粗鬆症フォーラム 日 : 2015年10月26日 所 : 千葉 名 : 骨粗鬆症に対する病診連携とリエゾンサービスの取り組み 者 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	名 : Total care conference of Rheumatology 日 : 2015年10月27日 所 : 千葉県千葉市ホテルニューオータニ幕張 名 : 関節リウマチに対する肩関節の外科的治療 者 : 佐々木裕
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	名 : 印旛市郡肩肘関節治療セミナー 日 : 2015年10月29日 所 : 聖隷佐倉市民病院 6Fホール 名 : 肩肘関節診療におけるポイント 者 : 佐々木裕
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	名 : 第10回千葉・筑波脊椎手術手技講習会 日 : 2015年10月31日 所 : アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張 名 : 胸腰椎前方手術のコツと落とし穴 者 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	名 : 第10回千葉・筑波脊椎手術手技講習会 日 : 2015年10月31日 所 : アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張 名 : 成人脊柱変形に対するLIFを用いた前後合併矯正固定術の手技 - XLIFを中心に - 者 : 佐久間毅

講演 開場 場 講演	演 催  演 演	会   演 演	名 : 第23回日本腰痛学会ハンズオンセミナー 日 : 2015年11月15日 所 : 東京 名 : 脊髄刺激療法の術前プランニングと手技の実際 者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、南昌平、大鳥精司、志賀康浩
講演 開場 場 講演	演 催  演 演	会   演 演	名 : Wangan Spine Forum 日 : 2016年1月15日 所 : 浦安 名 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対する地域連携とリエゾンサービスの取り組み 者 : 小谷俊明
講演 開場 場 講演	演 催  演 演	会   演 演	名 : 会津地区骨粗鬆症連携講演会 日 : 2016年1月21日 所 : 会津若松 名 : 骨粗鬆症治療に対する地域連携と院内連携の取り組み 者 : 小谷俊明
講演 開場 場 講演	演 催  演 演	会   演 演	名 : 八街市介護予防普及啓発事業 日 : 2016年1月29日 所 : 八街市 名 : いつまでも自分の足であるくために 者 : 岸田俊二
講演 開場 場 講演	演 催  演 演	会   演 演	名 : ロコモフィット柏記念講演会 日 : 2016年2月20日 所 : 柏市 名 : ロコモティブシンドローム 者 : 岸田俊二
講演 開場 場 講演	演 催  演 演	会   演 演	名 : 山陰テリパラチド学術講演会 日 : 2016年3月3日 所 : 米子 名 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対する病診連携とリエゾンサービスの取り組み 者 : 小谷俊明
講演 開場 場 講演	演 催  演 演	会   演 演	名 : 第29回自己血輸血学会ランチョンセミナー 日 : 2016年3月12日 所 : 札幌 名 : 自己血輸血における医師と看護師の協力体制 者 : 小谷俊明
講演 開場 場 講演	演 催  演 演	会   演 演	名 : 佐倉市骨粗鬆症リエゾン協議会 日 : 2016年3月17日 所 : 聖隷佐倉市民病院 名 : 腰曲がりと腰痛ーその病態と治療についてー 者 : 佐久間毅
講演 開場 場 講演	演 催  演 演	会   演 演	名 : 佐倉市骨粗鬆症リエゾン協議会 日 : 2016年3月17日 所 : 聖隷佐倉市民病院 名 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対する当院の地域連携と院内連携の取り組み 者 : 小谷俊明

## 『論文』

- 雑誌名 : 臨床整形外科 (0557-0433)  
 題名 : Balloon kyphoplasty とテリパラチド週 1 回製剤を用いた骨粗鬆症性椎体骨折に対する地域連携パスの試み  
 著者 : 小谷俊明 (聖隷佐倉市民病院整形外科)、赤澤努、佐久間毅、根本哲治、宮崎木の実、濱野恭佳、伊藤恵美子、秋山宏美、白井智裕、南昌平  
 巻、ページ、年度 : 50 巻、5 号、467-471、2015. 05
- 雑誌名 : 新医療  
 題名 : 脊椎手術における 0-arm の有用性を説く  
 著者 : 小谷俊明  
 巻、ページ、年度 : 6 月号 92-94
- 雑誌名 : 安全と健康  
 題名 : はじめよう、ロコモ予防  
 著者 : 岸田俊二  
 巻、ページ、年度 : 66-67、2015. 06. 01
- 雑誌名 : 日本医師会雑誌  
 題名 : 2 ステップテスト  
 著者 : 岸田俊二  
 巻、ページ、年度 : 144 巻、特別号 (1)、83-86、2015. 06. 15
- 雑誌名 : 東京都予防医学協会年報 2016 年版 ((公財) 東京都予防医学協会編、東京)  
 題名 : 脊柱側弯症検診 : 脊柱側弯症検診の実施成績、脊柱変形と姿勢異常の病態と診断  
 著者 : 南昌平  
 巻、ページ、年度 : 33-40、2016. 03
- 雑誌名 : Am J Human Genet  
 題名 : A functional SNP in BNC2 is associated with adolescent idiopathic scoliosis  
 著者 : Ogura Y, Kou I, Minami S, Kotani T, Matsumoto M et al.  
 巻、ページ、年度 : 97、337-342、2015
- 雑誌名 : Annals of Rehabilitation Medicine  
 題名 : Effects of Incentive Spirometry on Respiratory Motion in Healthy Subjects Using Cine Breathing Magnetic Resonance Imaging  
 著者 : Toshiaki Kotani, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma, Shigeyuki Nagaya, Masaru Sonoda, Yuji Tanaka, Takehide Katogi, Tetsuharu Nemoto, Shohei Minami  
 巻、ページ、年度 : 39、3、360-5、2015
- 雑誌名 : Journal of Spine Research  
 題名 : Ideal Tilt Angle for Fluoroscopy to Assist an S1 Nerve Root Block as Analyzed by Three-dimensional Computed Tomography  
 著者 : Sato Y, Kotani T, Akazawa T, Sakuma T, Nemoto T, Kitamura M, Nawawa K, Yamazaki A, Minami S.  
 巻、ページ、年度 : 6、938-941、2015

- 雑題 誌 名 : Journal of Orthopaedic Science  
 名 : Evaluation of pedicle screw placement by pedicle channel grade in adolescent idiopathic scoliosis: should we challenge narrow pedicles?  
 著者 : Tsutomu Akazawa, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Shohei Minami, Satoshi Tsukamoto, Miho Ishige  
 巻、ページ、年度 : 20、5、818-22、2015
- 雑題 誌 名 : Journal of Spine Research  
 名 : Clinical and Radiographic Outcomes of Sacropelvic Fixation Using S2 Alar Iliac Screws : Comparison with Conventional Iliac Screws  
 著者 : Nawata K, Akazawa T, Kotani T, Nemoto T, Sakuma T, Minami S.  
 巻、ページ、年度 : 6、905-908、2015
- 雑題 誌 名 : 整形外科看護  
 名 : 腸恥滑液包炎  
 著者 : 岸田俊二  
 巻、ページ、年度 : 2015 年秋季増刊
- 雑題 誌 名 : Journal of Spine Reseach  
 名 : Cortical Bone Trajectory スクリューにおけるルーシングの発生率とその危険因子の評価ー従来の椎弓根スクリューと比較してー  
 著者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、南昌平  
 巻、ページ、年度 : 6、1489-92、2015
- 雑題 誌 名 : Journal of Spine Reseach  
 名 : A Case of Cysic Lymphangioma as an Intradural Extramedullary Tumor in the Thoracic Spine  
 著者 : Tsuyoshi Sakuma, Akihiko Okawa, Masashi Yamazaki, Takeo Furuya, Kazunori Fugo, Tsutomu Akazawa, Toshiaki Kotani, Tetsuharu Nemoto, Shohei Minami, Kazuhisa Takahashi  
 巻、ページ、年度 : J. Spine Res. 6: 967-971: 2015

## 『その他』

- その 他 : Journal of Spine Reseach 5-11(2014) Best Paper 賞  
 日付 : 2015 年 11 月 5 日  
 場題 所 : りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館, 新潟  
 名 : Simultaneous Double Rod Rotation Technique による矢状面アライメントの変化の検討 -Rod Rotation で後弯の頂椎の位置は変化するか?  
 氏 名 : 佐久間毅
- その 他 : インタビュー (medical forum CHUGAI Vol.20 No.2 2016)  
 日付 : 2016 年 1 月 19 日  
 場題 所 : 医局会議室  
 名 : 骨粗鬆症リエゾンサービス普及に向けて多職種一致協力の「さくらモデル」始動  
 氏 名 : 小谷俊明、岸田俊二、加藤木丈英、宮崎木の実、岐部尚美、秋山宏美、高柳美奈子、清水菜穂、椎名祐子、木村弘美、伊藤和美、石野実俊、石田拓未、鈴木諒、三上浩史

その  
日  
場  
題  
氏

の  
他 : 取材 (NEOSYS No.16 2016)  
付 : 2016年1月28日  
所 : 医局会議室  
名 : 聖隷佐倉市民病院を中心とした骨粗鬆症における地域医療連携  
名 : 小谷俊明、加藤木丈英

## 【小児科】

### 『学 会』

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第118回日本小児科学会学術集会 日 : 2015年4月18日 所 : 大阪国際会議場 題 : ヨード剤によるうがいで無症状を呈した Basedow 病の1例 者 : 森一越、藤巻元、鈴木繁、川村研
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第50回日本小児腎臓病学会学術集会 日 : 2015年6月18日 所 : 神戸国際会議場 題 : 尿路感染症の経過中に発見された特発性高カルシウム尿症の1例 者 : 森一越、藤巻元、鈴木繁、川村研
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第50回日本小児腎臓病学会学術集会 日 : 2015年6月18日 所 : 神戸国際会議場 題 : SGA 性低身長を伴った FSGS の1例 : 成長ホルモン療法の是非 者 : 川村研、森一越、藤巻元、鈴木繁
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第202回日本小児科学会千葉地方会 日 : 2015年9月13日 所 : 千葉市文化センターアートホール 題 : 当院から他院へ紹介となった泌尿器科症例のまとめ 者 : 鈴木繁、森一越、藤巻元、川村研
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第6回日本線維筋痛症学会 日 : 2015年10月3日 所 : 新宿ベルサール 題 : 病初期より観察しえた広範囲疼痛症候群の小児例 者 : 森一越
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第37回日本小児腎不全学会学術集会 日 : 2015年11月27日 所 : ゆのくに天祥 題 : 他院へ紹介した泌尿器科疾患の検討 者 : 鈴木繁、森一越、藤巻元、川村研



## 『講 義』

講 開 場 演 演	義 催	名 : 食物アレルギー勉強会 日 : 2015年5月13日 所 : 6階ホール 題 : 食物アレルギーと経口食物負荷試験について 者 : 鈴木繁
講 開 場 演 演	義 催	名 : レントゲン勉強会 日 : 2015年6月24日 所 : 健診センター 題 : 看護師・薬剤師のための胸部レントゲンの見方 者 : 鈴木繁
講 開 場 演 演	義 催	名 : 防災委員会 机上訓練 日 : 2015年8月18日 所 : 6階ホール 題 : 災害対応とトリアージ 者 : 鈴木繁
講 開 場 演 演	義 催	名 : 聖隷小児科・薬剤師意見交換会 日 : 2015年11月17日 所 : 6階ホール 題 : 夜尿症について 者 : 鈴木繁、藤巻元

## 『講 演』

講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : さくら子ども健康フォーラム 日 : 2015年6月27日 所 : 西志津ふれあいセンター 名 : 子どもの成長に関する話題～治療可能な低身長の見見と対応 者 : 川村研
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 八街保健担当者研修会 日 : 2015年8月17日 所 : 八街市役所 名 : 子どもの成長に関する話題 者 : 川村研
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 学童検診結果報告会 日 : 2015年11月17日 所 : 四街道市役所 講堂 名 : 学校検尿と検尿異常の見方 者 : 川村研
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : ほのぼの子育ての会 日 : 2016年3月5日 所 : 聖隷淡路病院 名 : 今話題のアレルギーとその予防 者 : 鈴木繁、森一越

講演会名 : ほのぼの子育ての会  
開催日 : 2016年3月5日  
場所 : 聖隷淡路病院  
講演者名 : 三つ子の魂百まで一楽しんで子育てをしよう  
講演者 : 森一越

講演会名 : 低身長研修会  
開催日 : 2016年3月10日  
場所 : ノボノルディスク本社会議室  
講演者名 : 小児腎疾患と成長障害  
講演者 : 川村研

## 『論文』

雑誌名 : 日本小児腎不全学会雑誌  
題名 : 間欠性水腎症を合併した紫斑病性腎炎の1例  
著者 : 森一越、藤巻元、鈴木繁、川村研  
巻、ページ、年度 : vol. 34: 191-192. 2015

雑誌名 : 日本小児腎臓病学会誌  
題名 : 生活の制限と将来のQOLに関する検討～小児腎疾患キャリアオーバー症例におけるアンケート調査から～  
著者 : 若木均、森一越、幡谷浩史、石倉健司、本田雅敬  
巻、ページ、年度 : vol. 28: 24-31. 2015

雑誌名 : 小児科臨床  
題名 : IgA血管炎 (Henoch-Schonlein 紫斑病)  
著者 : 森一越  
巻、ページ、年度 : vol. 68: 915-919. 2015

## 【耳鼻咽喉科】

### 『学会』

学会名 : 第27回 日本喉頭科学会  
開催日 : 2015年4月10日  
場所 : 東京  
演題 : 終末期喉頭麻痺症例への対応  
演者 : 津田豪太

学会名 : 第21回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会  
開催日 : 2015年9月12日  
場所 : 京都市  
演題 : 嚥下チーム作ります  
演者 : 津田豪太

- |                       |        |   |
|-----------------------|--------|---|
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 日本音声言語医学会<br>日 : 2015年10月16日<br>所 : 名古屋<br>題 : 地域連携も考慮した嚥下治療の多様性<br>者 : 津田豪太                    |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 日本静脈経腸栄養学会 関東甲信越支部会<br>日 : 2015年12月20日<br>所 : 大宮市<br>題 : 嚥下内視鏡でわからないこと ～嚥下造影検査の必要性～<br>者 : 津田豪太 |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第88回 日本耳鼻咽喉科学会千葉県地方部会<br>日 : 2016年1月17日<br>所 : 千葉市<br>題 : 局所麻酔での嚥下機能改善手術症例<br>者 : 津田豪太          |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第31回 日本静脈経腸栄養学会<br>日 : 2016年2月26日<br>所 : 福岡市<br>題 : 嚥下障害症例への評価方法の検討<br>者 : 津田豪太                 |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第28回 日本喉頭科学会<br>日 : 2016年3月4日<br>所 : 大阪<br>題 : 咽喉頭異常感症への乾燥治療<br>者 : 津田豪太                        |

## 『講 義』

- |                       |        |  |
|-----------------------|--------|--|
| 講<br>開<br>場<br>演<br>演 | 義<br>催 | 名 : 名古屋大学医学部 特別選択講義<br>日 : 2015年12月18日<br>所 : 名古屋大学<br>題 : 嚥下障害の治療<br>者 : 津田豪太 |
|-----------------------|--------|--|

## 『講 演』

- |                       |                  |  |
|-----------------------|------------------|--|
| 講<br>開<br>場<br>講<br>講 | 演<br>催<br>演<br>演 | 名 : 日本耳鼻咽喉科学会 嚥下講習会<br>日 : 2015年4月5日<br>所 : 慈恵会医科大学<br>名 : 嚥下障害の栄養管理・気道管理<br>者 : 津田豪太      |
| 講<br>開<br>場<br>講<br>講 | 演<br>催<br>演<br>演 | 名 : 第37回 日耳鼻新潟県地方部会保険医療研修会<br>日 : 2015年4月18日<br>所 : 新潟市<br>名 : 耳鼻咽喉科中心の嚥下チーム治療<br>者 : 津田豪太 |

- |                  |                      |                     |  |
|------------------|----------------------|---------------------|--|
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br><br>演<br>演 | 会<br><br><br>演<br>演 | 名 : 胃瘻前嚥下機能講習会<br>日 : 2015年10月4日<br>所 : 東京<br>名 : 嚥下障害の栄養管理・気道管理<br>者 : 津田豪太                 |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br><br>演<br>演 | 会<br><br><br>演<br>演 | 名 : 胃瘻前嚥下機能講習会<br>日 : 2015年10月17日<br>所 : 名古屋<br>名 : 嚥下障害の栄養管理<br>者 : 津田豪太                    |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br><br>演<br>演 | 会<br><br><br>演<br>演 | 名 : 第16回 千葉県医師会医学会学術講演会<br>日 : 2015年11月3日<br>所 : 千葉市<br>名 : チームとする嚥下治療 ～医師の立場から～<br>者 : 津田豪太 |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br><br>演<br>演 | 会<br><br><br>演<br>演 | 名 : 第19回 関東嚥下技術者講習会<br>日 : 2015年11月8日<br>所 : 東京<br>名 : NST とともにする嚥下障害治療<br>者 : 津田豪太          |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br><br>演<br>演 | 会<br><br><br>演<br>演 | 名 : 八千代市耳鼻科医会関連医療連携会<br>日 : 2015年11月17日<br>所 : 八千代市<br>名 : 耳鼻科専門医に求められる嚥下の診断<br>者 : 津田豪太     |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br><br>演<br>演 | 会<br><br><br>演<br>演 | 名 : 高齢者嚥下音声セミナー<br>日 : 2015年11月29日<br>所 : 東京<br>名 : 嚥下障害の栄養管理、チーム対応、外科的対応<br>者 : 津田豪太        |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br><br>演<br>演 | 会<br><br><br>演<br>演 | 名 : 東部備後耳鼻科医会<br>日 : 2015年12月2日<br>所 : 福山市 (広島県)<br>名 : 耳鼻咽喉科がする嚥下障害治療<br>者 : 津田豪太           |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br><br>演<br>演 | 会<br><br><br>演<br>演 | 名 : 第31回 西日本音声外科研究会<br>日 : 2016年1月9日<br>所 : 松山市<br>名 : 嚥下手術のHOW TO<br>者 : 津田豪太               |
| 講<br>開<br>場<br>講 | 演<br>催<br><br>演<br>演 | 会<br><br><br>演<br>演 | 名 : 千葉県言語聴覚士会研修会<br>日 : 2016年1月24日<br>所 : 浦安市<br>名 : チームで対応する嚥下治療<br>者 : 津田豪太                |

- 講演会名 : 第29回 高知音声言語嚥下研究会  
開催日 : 2016年2月27日  
場所 : 高知市  
講演者 : チームで対応する嚥下治療  
講演者 : 津田豪太
- 講演会名 : 臨床薬学セミナー  
開催日 : 2016年3月15日  
場所 : 佐倉市  
講演者 : 嚥下の診断と治療  
講演者 : 津田豪太
- 講演会名 : 千葉NST ネットワーク 摂食嚥下リハビリテーション部会  
開催日 : 2016年3月22日  
場所 : 船橋市  
講演者 : 摂食嚥下障害に対する福井県での取り組みと耳鼻科医の役割  
講演者 : 津田豪太

## 『論文』

雑誌名 : 診療ガイドライン up to date 2016  
題名 : 嚥下障害  
著者 : 津田豪太  
巻、ページ、年度 : p794-798

雑誌名 : 老年医学  
題名 : 摂食嚥下障害へのチームアプローチ  
著者 : 津田豪太  
巻、ページ、年度 : vol. 54(1) : p15-21, 2016

## 【放射線科】

### 『論文』

雑誌名 : 臨床放射線 (金原出版)  
題名 : 外国文献紹介 : 気胸のサイズが原発性自然気胸の外科的治療の新しい目安の一つになり得る - 前向き調査より  
著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 60, p. 48, 2015

雑誌名 : 臨床放射線  
題名 : 外国文献紹介 : 胸部大動脈のステントグラフト内挿術の際に腸骨動脈や大腿動脈に生ずる合併症 - その頻度や危険因子、短期的および長期的転帰についての検討  
著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 60, p. 237, 2015

- 雑題 誌 名 : 臨床放射線  
 名 : 外国文献紹介：術前の CT を用いた肺気腫の定量的評価は肺葉切除後に生ずる合併症に関して呼吸機能検査よりも強い関連性を持っている  
 著者 : 瀬戸一彦  
 巻、ページ、年度 : Vol. 60、p. 377、2015
- 雑題 誌 名 : 臨床放射線  
 名 : 外国文献紹介：脳に合併症のある心内膜炎の患者の治療について  
 著者 : 瀬戸一彦  
 巻、ページ、年度 : Vol. 60、p. 479、2015
- 雑題 誌 名 : 臨床放射線  
 名 : 外国文献紹介：限局進行性および切除可能境界の膵癌に対する FORFIRNOX を用いた術前化学療法の放射線科および外科的治療上の意義について  
 著者 : 瀬戸一彦  
 巻、ページ、年度 : Vol. 60、p. 612、2015
- 雑題 誌 名 : 臨床放射線  
 名 : 外国文献紹介：骨腫瘍切除後に微細海綿骨の同種骨移植を行った部位の MRI 画像所見について  
 著者 : 瀬戸一彦  
 巻、ページ、年度 : Vol. 60、p. 786、2015
- 雑題 誌 名 : 臨床放射線  
 名 : 外国文献紹介：大腸憩室からの出血を繰り返す患者に対する高濃度バリウム充填療法－無作為化比較試験の結果について  
 著者 : 瀬戸一彦  
 巻、ページ、年度 : Vol. 60、p. 862、2015
- 雑題 誌 名 : 臨床放射線  
 名 : 外国文献紹介：頭頸部の牽引損傷に合併した鈍的脳血管障害について  
 著者 : 瀬戸一彦  
 巻、ページ、年度 : Vol. 60、p. 983、2015
- 雑題 誌 名 : 臨床放射線  
 名 : 外国文献紹介：筋減弱症や栄養不足による機能低下の状態から大腸癌手術後の合併症を予測する  
 著者 : 瀬戸一彦  
 巻、ページ、年度 : Vol. 60、p. 1113、2015
- 雑題 誌 名 : 臨床放射線  
 名 : 外国文献紹介：頸椎環軸関節の変性変化の有病率について  
 著者 : 瀬戸一彦  
 巻、ページ、年度 : Vol. 60、p. 1214、2015
- 雑題 誌 名 : 臨床放射線  
 名 : 外国文献紹介：急性期の脊椎骨折における骨髄浮腫の多様性について  
 著者 : 瀬戸一彦  
 巻、ページ、年度 : Vol. 60、p. 1713、2015